

渡辺淳一文学館ドラマティックライヴ

渡辺淳一 追悼朗読会

2014年に逝去されるまで、文壇の第一線で活躍された、渡辺淳一先生。
先生の多彩な著作の中からいくつかの作品を取り上げ、朗読いたします。
昔からのファンの皆様にも、初めての方にも、魅力を感じていただく機会となれば、幸甚です。

『医師たちの独白』より 「祭りの日」

デビュー前後に書かれ、著者本人によって
長く大切に保管されていた未発表作

朗読：鈴木 瑠以子

『源氏に愛された女たち』より 「藤壺」

不朽の名作「源氏物語」に登場する
ヒロインたちの愛のありよう。
光源氏と彼をめぐる女たちの
「愛する理由」「愛される理由」を、
恋愛小説の大家が説く
～永遠の憧れの人「藤壺」

朗読：林 浩子・関口 淳子

『光と影』（抜粋）

戦場で負傷した腕を、一人は切断され、
一人は不自由のまま残された
士官二人の運命の皮肉を描く直木賞受賞作

朗読：栗山 博

2024年4月27日(土)

開演 14:00 (開場13:30)

渡辺淳一文学館

TEL:011-551-1282

札幌市中央区南12条西6丁目414

入場料 1,500円(要予約)

(付き添いを必要とする障がいをお持ちの方は
介助の方1名様無料。予約時にお知らせ下さい。)

渡辺淳一文学館ドラマティックライブ 渡辺淳一◆追悼朗読会

渡辺 淳一

1933年北海道生まれ。医学博士。1958年札幌医科大学卒業後、母校の整形外科講師となり、医療のかたわら小説を執筆。

1970年「光と影」で直木賞を受賞。1980年に吉川英治文学賞を、2003年には菊池寛賞などを受賞する。

作品には初期の医学を題材としたものから、歴史、伝記的小説、男と女の本質に迫る恋愛小説と多彩で、医学的な人間認識をもとに、華麗な現代ロマンを描く作家として、晩年まで文壇の第一線で活躍した。

141冊に及ぶ著作を発表、1980年には文藝春秋社から渡辺淳一作品集全23巻を、さらに1995年には角川書店から渡辺淳一全集全24巻を刊行し、1997年2月刊行の「失楽園」（講談社）は、日本経済新聞に連載中から話題を呼び、300万部を突破。その題名は1997年の流行語大賞に選ばれた。



関口 淳子



栗山 博



鈴木 瑠以子



林 浩子

ドラマチック リーディンググループ 「蔵」KURA

2008年、日本文学（古典～現代文）をドラマチックな朗読で表現し、文学をより身近に楽しんで頂く事を目的とし結成。京都 平等院・清涼寺・東福寺では源氏物語を主に古典の朗読会を企画公演。カナダ バンクーバーの日本人会では小泉八雲や現代作家の作品を読む会を企画公演。札幌での活動は2009年～2010年 女人源氏物語全6回シリーズ（全12話）を渡辺淳一文学館にて企画公演。2009年より札幌市中央図書館において「ろうどくの小怪」朗読会を毎月開催中。教文演劇フェスティバル「舞台朗読への挑戦」2011年・2014年に出演。2011年～2019年 渡辺淳一文学館において渡辺作品を朗読する「花咲」に出演。2012年より北海道道立文学館主催 北海道文学を朗読する「北の響」に出演中。2017年 第6回「北の聲 アート特別賞 ハルニレ賞」受賞。更にドラマチックな朗読に挑戦。

【チケット取扱・ご予約・お問合せ】

■渡辺淳一文学館 月曜休館 但し、祝日の場合は翌平日休館

TEL : 011-551-1282

受付 : 9:30~17:30

Mail : info.watanabe.bungaku@ac.auone-net.jp

HP : <http://watanabe-museum.com/>



駐車場のご用意はございません。

公共交通機関か近隣の駐車場をご利用ください。

